
社会福祉法人 プラモウト・サークルクラブ

令和元年度（平成 31 年度） 事業報告書

2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年度 3 月 31 日）

《目次》

I 事業及び名称等

II 総括

III 理事会及び評議員会実施状況

IV 地域における公益的な取り組み

V 特別養護老人ホームの運営

1. 特別養護老人ホーム坂戸サークルホーム

2. 特別養護老人ホーム小沼サークルホーム

I 事業及び名称等

1. 事業（定款に定められたもの）

- (1) 第一種社会福祉事業 / ・特別養護老人ホームの経営
- (2) 第二種社会福祉事業 / ・老人短期入所事業の経営・老人デイサービス事業の経営
・生計困難者に対する相談支援事業

2. 事業所名称及び利用者定員

- (1) 特別養護老人ホーム坂戸サークルホーム（埼玉県坂戸市石井 1684 番地）
長期入所定員 90 名・短期入所定員 10 名・デイサービスセンター（通所介護）定員 30 名
- (2) 特別養護老人ホーム小沼サークルホーム（埼玉県坂戸市小沼 490-1）
長期入所定員（ユニット型）100 名

II 総括

1. 二つの危機

(1) 台風第 19 号の被害

10 月 12 日、台風第 19 号の記録的な豪雨により、坂戸市でも河川の決壊がおこり甚大な浸水被害を受けました。台風通過前から避難指示が出され避難所は人で溢れていました。小沼サークルホームでは近隣住民が施設へ自主避難して、越辺川が決壊した明け方には大勢の人々が施設に集まりました。坂戸サークルホームでは、地域住民避難者はいなかったものの、一般避難所では対応できない要介護者とその奥さんが、坂戸市の要請により福祉避難所として正式に避難されて来ました。その後、ご夫婦で一か月間近く避難生活を余儀なくされ、新居が確保できたことにより奥さんは帰宅し、要介護者は結局帰宅できず特例措置による短期入所後、長期入所となりました。その方は、自宅が浸水してベランダから消防署のボートに乗り救出されました。

また、川越市では、越辺川が氾濫した影響で特別養護老人ホームが浸水し、200 人以上の入所者が取り残されたが、13 日午後 5 時過ぎに全員が救助されました。この特別養護老人ホームの利用者は各施設に振り分けられ、坂戸サークルホームでも 1 名を受け入れ、年度が明けた 4 月 8 日に仮設施設ができたことから退所しました。

(2) 新型コロナウイルス感染拡大

令和2年1月から国内で本格化した新型コロナウイルスの感染拡大は、社会情勢を一変するものとなりました。この報告書を作成している時点で施設運営は多大な影響を受けています。令和2年2月24日の厚生労働省発の文章をもって、新型コロナウイルス感染症の拡大により面会を全面中止し、長期利用者の新規入所を取り止めております。また、短期入所及び通所介護も運営を停止し、感染拡大防止に努めております。その具体的な影響は令和2年度になりますが、ご利用者の皆様、従業員の安全確保及び特養事業の継続のため、日々変化する状況に応じた対応を実施しております。

この新型コロナウイルス感染拡大は、介護施設の在り方と運営手法を変革するものであり、施設の病院化が急速に進むものと考えております。

2. 収支決算

令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が翌年度に持ち越されることにより、おおむね順調に推移しました。決算内容については、利用率が維持でき予算の範囲内で事業執行でき、法人全体で黒字決算となりました。令和2年10月から小沼サークルホームの元金返済が始まりますが、今年度決算の状況から返済の目途がたち、今後は質的向上を図る努力を重ねることとなりました。

また、令和元年度から会計事務所と契約し、定期的に当該計算関係書類について点検及び助言をしてもらうこととしました。これにより、より適正な会計処理を推進することができました。

3. 人材確保について

介護職員をはじめとした全職員について、その必要人数を確保して不足なく事業運営できました。

III 理事会及び評議員会実施状況

令和元年	6月1日	第140回理事会	平成30年度事業報告について 平成30年度収支決算及び監事監査報告について 理事の選任について 監事の選任について 定款の変更について 定時評議員会の開催について 坂戸サークルホーム給食食材一括購入契約について
	6月22日	定時評議員会	平成30年度決算の承認について 理事の選任について 監事の選任について 定款の変更について 平成30年度事業報告について 監督官庁が実施した検査又は調査の結果について
	6月22日	第141回理事会	理事長及び業務執行理事の選任について
	10月26日	第142回理事会	職務執行の状況報告について 令和元年度補正予算(案)について 給与規程の変更(案)について 坂戸サークルホームデイサービスセンター通所介護事業及び通所介護相当サービス運営規程の変更(案)について 特別養護老人ホーム坂戸サークルホーム本館2・3階空調設備設置工事の実施について
令和2年	3月18日	第143回理事会	令和2年度事業計画(案)について 令和2年度収支予算(案)について 令和元年度収支補正予算(案)について 職務執行の状況報告について 定款施行細則変更(案)について 指定通所介護事業運営規程変更(案)について

IV 地域における公益的な取り組み

1. 生計困難者に対する相談支援事業「彩の国あんしんセーフティネット事業」

地域における公益的な取組を実施する責務について、この事業を「生計困難者に対する相談支援事業」として定款に定め事業実施を担保しております。

この事業では、当法人にて坂戸市全域を担当し、坂戸市福祉事務所並びに坂戸市社会福祉協議会と連携しながら、生計困難者の速やかな支援を実施しております。社会福祉法人の責務を果たす事業として取り組んでおり、地域から高い評価を頂いております。

令和元年度の支援実績は、支援者延べ件数 50件、支援内容は光熱水道費や食料品を中心に支援累計金額 669,230円となっております。

2. 子どもを対象とした学習教室を運営する事業

埼玉県「生活保護世帯及び生活困窮世帯の子どもへの教育支援」として、近隣町村の子どもを対象とした「坂戸学習教室」を特別養護老人ホーム坂戸サークルホームにて、平成27年度から継続実施しております。年度末の閉講式では子どもたちから多くの感謝の声を頂き、社会福祉法人のありかたとして成果のある地域支援を行っております。また、この事業実施に対して平成28年度埼玉県社会福祉大会において、社会福祉のための努力と功績が特に顕著である者として、埼玉県知事から知事表彰が授与されました。

坂戸教室実施状況は以下のとおりで、坂戸学習教室は発展的に運営しており成果が表れています。

年度	利用登録	教室開催	生徒延べ参加人数	ボランティア延べ参加人数	指導員延べ参加人数
H29	23人	44回	552名	99名	202名
H30	35人	44回	758名	209名	212名
R元	41人	42回	※788名	202名	182名

※788名内訳→中学生591名・高校生197名

Ⅴ 特別養護老人ホームの運営

1. 長期入所

特別養護老人ホーム坂戸サークルホーム（以下「坂戸」）／定員 90 名

特別養護老人ホーム小沼サークルホーム（以下「小沼」）／定員 100 名・H30 年 2 月 1 日開設

(1) 利用者の状況

① 利用者平均介護度年度別推移（令和 2 年 3 月末現在）

	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度
坂戸	4.0	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1
小沼	—	—	—	—	—	3.6	3.7	3.8

※少数第 2 位切り捨て

② 利用者介護度（令和2年3月末現在）

単位：人

	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
坂戸	0	2	24	31	33	90
小沼	2	4	37	31	26	100

③ 介護度重度化割合年度別推移（令和2年3月末現在）

	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度
坂戸	75.6%	80.0%	81.1%	82.2%	82.2%	82.2%	76.7%	71.1%
小沼	—	—	—	—	—	55.5%	60.0%	57.0%

※ 重度化割合→介護度4・5の利用者が全体に占める割合

④ 利用者平均年齢等（令和2年3月末現在）

	平均年齢	最高年齢	最低年齢
坂戸	84.6歳	102歳（女性）	66歳（男性・女性）
小沼	84.3歳	102歳（女性）	47歳（男性）

⑤ 利用者の入所期間（令和2年3月末現在）

	利用者の平均入所期間	現在利用者の最長入所期間
坂戸	3年 6ヶ月	15年 7ヶ月
小沼	1年 8ヶ月	2年 3ヶ月

⑥ 保険者 ※利用者の保険を請け負う市区町村（令和2年3月末現在）

単位：人

	坂戸市	埼玉県内（坂戸市以外）	県外	合計
坂戸	75	14	1	90
小沼	59	22	19	100

⑦ 利用者の介護保険負担限度額認定（令和2年3月末現在）

単位：人

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	合計
坂戸	8	23	38	21	90
小沼	1	20	41	38	100

(2) 運営の状況

① 定員に対する利用者利用率（稼働率／少数第二位四捨五入）

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
坂戸	98.3%	98.7%	99.2%	99.0%	98.9%	99.6%	99.8%
小沼	—	—	—	—	42.2%	93.3%	98.0%

※小沼は平成30年2月1日開設

② 入・退所の状況

ア. 入退所月別人数

単位：人

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
坂戸	入所	1	2	1	0	1	0	1	1	2	2	3	2	16
	退所	1	2	1	1	0	0	1	1	2	3	2	2	16
小沼	入所	0	0	0	1	3	1	1	1	3	3	3	1	17
	退所	0	0	1	2	1	2	0	3	2	2	4	0	17

イ. 退所者の事由

単位：人

	死亡退所	入院	在宅復帰	他施設に移動	合計
坂戸	16	0	0	0	16
小沼	13	3	0	1	17

ウ. 入所者の入所前生活状況

単位：人

	老健	病院	在宅※	グループホーム	サ高住等	合計
坂戸	3	3	8	1	1	16
小沼	2	2	8	3	2	17

※在宅には当施設及び他施設のショートステイ利用者を含む

2. 短期入所

特別養護老人ホーム坂戸サークルホーム併設型定員10名

(1) 運営の状況

① 月別利用者延べ人数

単位：人

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25年度	157	178	207	237	231	272	296	297	295	294	264	286	3,014
H26年度	295	311	292	324	362	336	323	315	332	265	286	285	3,726
H27年度	241	280	261	271	306	312	275	272	296	288	265	269	3,336
H28年度	260	281	269	285	296	283	300	297	291	277	238	303	3,380
H29年度	272	280	267	309	296	286	326	316	339	306	137	135	3,269
H30年度	201	149	201	173	252	238	222	196	187	106	141	222	2,288
令和元年度	231	261	230	259	318	306	323	324	288	268	286	215	3,039

② 利用者介護度別延べ人数

単位：人

介護度 項目	予防介護	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
延べ人数	5	57	542	1,419	1,070	216	3,309

③ 空床利用月別延べ人数

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④ 措置入所等

措置件数	2件	措置期間延べ日数	115日間
------	----	----------	-------

※ 2件とも台風第19号浸水被害のため

3. デイサービスセンター（通所介護）

特別養護老人ホーム坂戸サークルホーム定員30名

(1) 運営の状況

① 利用延べ人数・運営日数・一日当たり利用者平均人数

年度	項目 利用延べ人数	運営日数	一日当たり 利用者平均人数
平成22年度	4,671人	292日	15.99人
平成23年度	4,707人	297日	15.84人
平成24年度	5,183人	295日	17.56人
平成25年度	4,908人	296日	16.58人
平成26年度	5,091人	310日	16.42人
平成27年度	4,000人	311日	12.86人
平成28年度	4,156人	310日	13.41人
平成29年度	4,789人	309日	15.50人
平成30年度	4,271人	311日	13.73人
令和元年度	4,966人	309日	16.07人

※ 平成26年度から祭日営業実施

② 介護度別利用者延べ人数（令和2年3月末現在）

単位：人

介護度 項目	予防		介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
	支援1	支援2						
合計	0	193	823	1,303	1,227	670	750	4,966

③ 月別利用者延べ人数

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	396	409	384	437	440	425	432	397	424	384	420	418	4,966